

都道府県別賞一等

健康寿命と生命保険

沖縄県 浦添市立浦添中学校 一学年

赤嶺 虹海

私は、母から

「私たちは、家族みんな生命保険に入っているんだよ。」

という話を聞いて、生命保険ってなんだろうと思ひ、まず生命保険について調べてみました。

生命保険とは、自分の病気やケガ、介護の備えのことで、生活保障の仕組みだということが調べて分かりました。大きく生命保険を分類すると、死亡保険、生存保険、生死混合保険に分けることができるそうです。

実際に私は生命保険に入っており、生後三カ月の頃に気管支炎で入院した際の費用を保険で賄ったことがあったそうです。また、姉や私が生まれる時も、緊急に手術が必要となり、母親の生命保険が役に立ったということも知りました。私と姉は、母子家庭で育ってきました。姉もまだ高校生、私も中学生で、今後進学費用もかかってきます。母は

「〇歳のうちに、生命保険だけでなく、こども保険に加入しているから、高校・大学進学の際に学費の負担を減らせて助かる。」

とも話していました。母が、私たちの将来を考えて、早めの備えをしてくれていたことが分かり、安心して毎日過ごせていることを感謝しています。

私の将来の夢は、看護師になることです。その看護師になるための知識として、日本人が亡くなる、主な原因を調べたところ、最も多いのは二六・五パーセントの悪性新生物で、二番目が一四・九パーセントで心疾患、三番目が十・六パーセントで老衰であることがわかりました。最近では、働き盛りである、四十代から六十代の方が亡くなるニュースもよく聞かれます。また、二〇四二年には高齢化社会がピークとなることが予測されています。そんな高齢化社会になりつつある中、生命保険に加入したからといって、病気やケガがなくなるわけではありません。日々、一人一人が健康に意識した、体づくりをしていくことが大切です。生命保険は、あくまでもしもの時の備え、という意識が大事だと思います。

ここで、私の祖父母のお話をします。祖父母は、健康維持のために、十数年も前から、ウォーキングを毎朝行っています。また、平日には、ゴルフ、ボウリング、着付け、料理教室、釣り等の趣味も楽しんでいます。祖父母は、「健康を維持しているから、自分達が好きなことを、二人で、または友人とと

## 第61回中学生作文コンクール

もに、日々楽しんで過ごさせている。また、家族や孫と今後でも楽しく過ごしたい。」と話していました。そういった思いや目標があるからこそ、現在の健康を保っているのだと思います。そのように対策している祖父母であっても、心疾患によって入院したことがあります。病気は急に起こることもあり、その際にも、生命保険が役に立ったようです。

私は、今後、病気にならない予防医学が重要になってくると思います。私が将来看護師となって、その分野にたずさわれるように頑張りたいです。そして、将来、人々に健康維持の重要性を伝え、また自分自身が親となった時、家族・子供も安心して生活できるよう色々な生命保険についての勉強・知識を身につけ、「安心のための生命保険・健康寿命と生命保険」について日々考えながら過ごしていきたいと思いました。